



# THE AKAMATSU 知識の森通信 vol. 28

http://www.kyowa-u.ac.jp

編集: 宇都宮共和大学入試広報委員会

発行: 宇都宮共和大学

宇都宮共和大学

[宇都宮シティキャンパス]  
〒320-0811 栃木県宇都宮市大通り1丁目3番18号  
TEL.028-650-6611 FAX.028-650-6612[那須キャンパス]  
〒329-3121 栃木県那須塩原市鹿野崎131

## Message from President

### 学長メッセージ



### 配慮と節度が豊かさにつながる

学長 須賀 英之

学園創立110周年の記念すべき年に、宇都宮共和大学の第8期生として栄えある卒業を迎えた皆さま、学位の取得おめでとうございます。

在学中の4年間、学問の探究のみならず、教職など各種の資格取得、さらには地域の課題解決に向けた実践的な活動に一生懸命、真摯な努力を傾注されたことに深く敬意を表します。

その結果、幅広い教養と豊かな人間性を身につけられ、優良企業への就職内定や多くの大学院進学など立派な進路実績をあげられました。心からお慶び申し上げます。

さて、インドの思想家であるサティッシュ・クマールは、「配慮と節度が豊かさにつながる」と述べています。私は、競争原理至上主義の時代が終わり、「個人と社会」や「人と自然」の因果関係が重視される時代の到来を示唆したものと感じています。

持続可能な社会のために、どのような貢献ができるのか、折にふれて常に自問自答してください。そして、大学で学んだ学際的な知見と教職員・学友とのふれあいにより磨かれた感性を基盤に、成熟化社会を豊かに生き、幸福な人生を歩まれることを願っています。

### 副学長メッセージ



### ご卒業にあたって

副学長 大久保 忠且

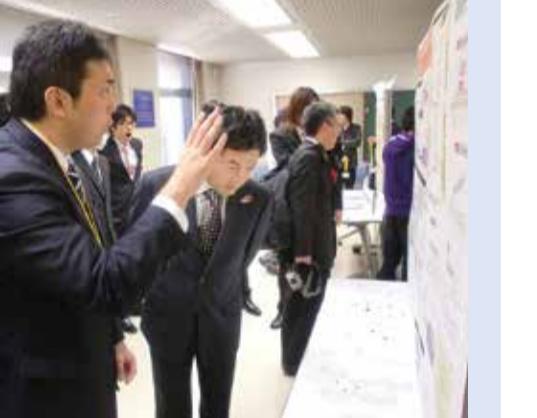
皆さん、ご卒業おめでとうございます。

現在、日本だけでなく欧米の先進国も、経済的大不況の津波に襲われています。それに応じて政治の面も大きく変わろうとしています。マスコミが、「1955年以来の政治状況の変革」とか「1929年以来の世界経済不況」と形容していますが、実際は、先端的な哲学者や物理学者たちが15年以上も前から、従来までの文明(たとえば石油大量消費の工業的文明)の考え方に行き詰まる、と言っていたことを思い出します。つまり今の私たちは、百数十年に一度という歴史的な文明の転換期にあって珍しい体験をしているのだ、と考えることができます。私の環境分野の講義で話したように、人類の文明の発祥の時代から現在まで私たちの祖先たちが経験した文明の転換は、必ず自然環境の大きな変動が誘因となっています。20世紀の工業中心の文明が引き起こした地球規模の自然環境の変化は、次の文明の転換への誘引となるのかもしれません。

この転換期にどう私たちの考え方を対応させたらよいのかは、過去の歴史書や哲学者の言葉に学ぶしかありません。皆さんも、社会人になって明日の生活をどうするかはもちろん大切ですが、時には、数十年、数百年の長い尺度でのごとを考える試みもしてほしいと願っています。

## 大学生によるまちづくり提案発表会 2009

12月18日(金)、うつのみや市政研究センター(所長:古池弘隆、本学教授)による「大学生によるまちづくり提案発表会」が宇都宮市役所大会議室において開催されました。今回で5回目となるこの発表会には、宇都宮市内大学の学生団体から、独自の発想や視点からさまざまなもの「まちづくり提案」が寄せられ、最終的に10の提案書がまとめられました。本学からも3つの団体が参加しました。



〈テーマ〉 61のまちなか巡り  
～表示板を活用した歴史再発見～

都市・アメニティ研究会  
代表 堀山 健(3年)  
指導教員:山島 哲夫 教授

私たちの研究会は、毎年、宇都宮市の学生によるまちづくり提案に応募し、研究成果の発表を行っています。今年度は、「61のまちなか巡り～表示板を活用した歴史再発見～」と題して、宇都宮の中心市街地にある旧町名表示板を活用した宇都宮ブランド育成のための提案を行いました。旧町名表示板には、旧町名の由来等が記載されており、見て回るだけでも、宇都宮の歴史に親しみができます。さらに、中心市街地の限られた範囲に61基もあることから、これを活用すれば、まちの活性化を高めることができます。しかし、現状では、十分に活用されていないことから、「表示板を活用」「表示板に親しむ」という3つの柱を立て、具体的な施策提案を行いました。

提案の作成に当たっては、研究会のメンバーが実際にまちを歩き表示板の状況を確認するとともに、表示板の位置をweb上のマップに表示する等の作業を行いました。また、表示板を活用したウォーキングも実施しました。表示板に親しむためのグッズ作りでは、おしゃり、箸入れ、判子、絵葉書さらには実物大の表示板の模型などを2年生から4年生までの15人のメンバーが協力しながら作成しました。発表の前は、夜遅くまで残って作業に追われましたが、当日は、来場者からも好評を得ることができ、充実した発表をすることができました。

〈テーマ〉 ブログから探る市民目線の「宇都宮」の印象・魅力

高丸ゼミ  
代表 村上 貴洋(4年)  
指導教員:高丸圭一 専任講師

私たちのグループでは、「ブログから探る市民目線の「宇都宮」の印象・魅力」というタイトルで、地域ブランド推進のためのツールを提案しました。このツールはインターネット上の情報を利用して、一般市民の視点をブランド戦略にフィードバックしようというものです。具体的には、宇都宮について書かれたブログ記事から抜き出した「市のイメージ」や、「地域ブランドに対する注目の度合い」をツリー状のマップや折れ線グラフで表現して視覚的に提示するものです。

私は3年生の頃からゼミで、今回の発表に関連したテーマを調べていました。去年の夏頃に「まちづくり提案」を発表してみたかったが、この経験で物事の考え方や、人に分かりやすく説明することの難しさを改めて知ることができました。

〈テーマ〉 うたのまち「うつのみや」～次世代につなぐメロディながれる「うつのみや」～

教職課程  
代表 安良岡 理佐(2年)  
指導教員:安良岡 非常勤講師

私たちのグループでは、「うたのまち「うつのみや」～次世代につなぐメロディながれる「うつのみや」～」というタイトルで、地域ブランド推進のためのツールを提案しました。このツールは、宇都宮市が次世代にも輝くために、次世代を担う幼児から青少年の心を育していくことが必須であると考え、野口雨情にちなみ、宇都宮市が次世代にもつないでいるまちを目指し、誰もが親しめ参加できる童謡を中心としたまちづくりを提案しました。

そのため、小学生から一般まで幅広い市民の意識や考えをアンケートにより把握し、事業の方向性を考えることにしました。調査の結果、童謡や唱歌が各層にわたって今も親しまれていることや、好きな曲・歌い継がれて欲しい曲が世代を超えて同じ曲に集中していることが分かりました。一方、雨情については、一般市民に比べ若年層では余り知られていないことが明らかになりました。

学校や公園、役所、駅、企業など様々な場所で定期的に、心に響く童謡など親しまれる唱歌が流れれる子育てに優しいまち、そういう町づくりを私たちは目指しています。

## サークル紹介

### 小説読み書き同好会

代表 鮎澤 利哉



私は小説家になるという夢があります。それと同じ夢を持った仲間を集め、皆でその夢に一步でも近づけるように、このサークルを作りました。

小説読み書き同好会は、その名通り「小説を読んだり書いたりする」サークルです。具体的には、「小説を読んでその批評や感想をまとめる」、「自ら小説を執筆する」といった活動を行っています。サークル集会は月に一度で、その際にそれぞれが書いた文章を皆で批評・反省し合います。そして、それらを会誌として大学祭で発表し、沢山の人達に自分達の創り上げた文章を楽しんでもらうことを一年間の目標として掲げてきました。

今年度に入ってからは4年生は就職活動に忙しく、あまり目立った活動はできませんでした。自分達の作品のインターネット上の公表や新人賞への応募など、まだまだやり残したことあります。しかし、後輩達や来年度の新入生達の中に小説を読むこと、書くことが好きという仲間がいるので、小説読み書き同好会の発展は彼らに任せたいと思います。

最後に、私は、執筆者にとっての一番の喜びとは、読者が感動してくれることだと思うのです。もしもこの紹介文を読んで、小説読み書き同好会について何かしら感じてくれたのならば幸いです。

これまで、そして、これから的小説読み書き同好会をどうかよろしくお願ひ致します。

### Light Music Club 同好会

代表 渡辺 勝也

サークル団体の中で最多の人数を誇るLight Music Clubは、今年で設立から3年目を迎えました。主に大学祭でのライブ演奏を毎年行っていますが、昨年は当オーブンしたばかりの那須アウトレットで野外ライブを行い、昨年は宇都宮市内のライブハウスや宇都宮市内にあるイベント広場のオリオンスクエアでライブを行うなど、年々その活動に広がりを見せています。

また、大学祭ではライブの準備以外にも様々な準備を手伝ったり、毎年サークル全体で協力し合い、模擬店を出店して焼きそばを作ったり、バンド以外の活動にも積極的に取り組む姿勢をもっています。

所属している学生たちは、このような活動を通して仲間同士の絆を深め、何かと忙しい学生生活の中で、音楽を通して大学内の先輩や後輩、他大学の学生などと交流を図っています。

今後はその活動により一層広がりを深めるよう、さらにライブや学外活動に力を注ぎたいと思っています。また、そのような活動を通じてサークル内の絆を作り上げていきたいと思います。



### Board's Style 同好会

代表 発生川 典考

私たちBoard's Style 同好会は、木曜日の授業終了後、2年生を中心とし和気藹々とスケートボードをメインに活動を行っています。

設立してから2年と日が浅く、初心者からスケートボードを始める人が多いため、部員にスケートボードを教えてくれる人が少ないので、スケートボードが出来る場所に赴き、経験者の方に指導してもらったり、本やDVDを参考に学校で練習するなどスケートボードの技術向上に日々切磋琢磨しております。また、長期休暇を利用し旅行に出かけたり、飲み会を定期的に行なう部員同士の交流を盛んに行っており、部員同士の仲がとても良いです。

昨年、新入生歓迎会でスケートボードの実演を行ったり、すみれ祭でお店を出店するなど学校行事に積極的に参加し、学生生活を盛り上げるために活動しました。

今年は、学校行事だけではなく、共和大の名を広めるためのスケートボードの大会にも出場したいと考えております。またスケートボード以外の活動としては、サーフィンやスノーボードといった季節に合わせたボードを使うスポーツにも取り組みたいと考えています。



## クリスマスコンサート開催 12月9日(水)

昨日は「ヴァイオリンとピアノで綴る世界の叙事詩とクリスマス」というテーマでクリスマスコンサートが開催されました。

宇都宮短期大学附属高校出身の演奏家と宇都宮短期大学在学の学生による演奏に、会場を訪れた方々は酔いしれていようでした。最近では、クリスマスコンサートを毎年楽しみにしている方も多く、一足早いクリスマス気分を味わったようです。



## 研究室だより

自転車によるまちづくりに向けて

教授 古池 弘隆



都市交通問題の解決策として、自動車依存からの脱却をめざして公共交通や自転車利用の推進策を研究しています。私自身も、日ごろ通勤や短距離の移動に自転車を愛用しています。2000年のアムステルダムや2003年のパリをはじめとするいくつかの国際会議において、自転車に関する研究発表を続けてきました。特に昨年(2009年)5月のブリュッセルでの世界自転車会議では、ポスターセッションで第2位に入賞し、EUの本会議場で受賞の栄誉を受けました(写真は当日の受賞記念演説)。また、昨年9月には韓国大田市でのシンポジウムで日本の自転車政策に関する基調講演を行ないました。

地球の温暖化対策や高齢化社会における移動手段として、自転車の重要性が世界的に見直されています。宇都宮市も自転車が安全・快適に利用できるサイクルシステムを目指して新たな基本計画を策定中であり、その委員としても研究活動を続けています。

自転車によるまちづくりに向けて

## 地元就職なら共和大!

就職内定速報

地元就職なら共和大!

地元就職なら共和大!&lt;/div

# 今、未来に向けて 羽ばたくとき



## はなむけの言葉



新生本学1回生としての自覚をもって未来へ  
第8期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。いよいよ4月からは就職や進学など、皆さんは新たな道を歩み始めることになります。不安と期待で一杯だと思いますが、準備すべきことを十分準備して新たな第一歩を踏み出されますよう願っております。

さて、皆さんが入学された平成18年(2006年)は、本学にとって特別な年でした。それは、大学名が那須大学から宇都宮共和大学に、また学部名もシティライフ学部に変り、そしてまた新設された宇都宮キャンパスにおいて新たなカリキュラムの下にスタートしたからです。その意味においては、皆さんは新生本学における一回生として足跡を残されたことになります。

この他にも、皆さんの残した足跡は新キャンパスでの大学祭や教育実習を含む教職課程の活動に道筋をつけたこと、あるいはまた宇都宮市の「大学生によるまちづくり提案」で本学の名を高め、今後につなげたことなど、沢山あります。皆さんのおかげで私たち教職員がこの後を引き継ぎ、本学の成長・発展に努める所存です。変化があり、難問が次から次に現れる時代ではありますが、自分が信ずることにしたがって臆することなく前進していきましょう。



## 支え合う生命を大切に

薦められて、宇沢弘文著「社会的共通資本」を読んだ。社会的共通資本には自然環境・社会的インフラ・制度資本があり、これらは「国家の統治機構の一部として官僚的に管理されたり、利潤追求の対象として市場的な条件によってのみ左右されなければならない」とある。自然環境には土地、大気、土壤、森林、水、河川、海洋などが含まれる。

この部分を読んで「山川草木悉皆成仏」という言葉を思い出した。自然界にある全てのものは成仏する、即ち、生きているということだ。この考え方はアジアの仏教圏には共通なのだろうが、自然是征服の対象ではない。いわゆる「文明」の発達は、自然環境の破壊と表裏一体であった。しかし、今はその自然から逆襲を受けているように見える。

人は互いに支え合っているので「人」であると言われるが、もっと大きな生命体である自然の絶妙なバランスに支えられての人間であると考えられる。人は勝手に生きているのではない、静かに息づく自然の一部として生きかれている。その貴重な支え合う生命を大切に、しっかりと生きてください。Last but not least, CONGRATULATIONS!



## 自らの人生を切り開く自立的姿勢を

皆さん、ご卒業おめでとうございます。本日、皆さんは本学において街づくりの担い手としての学問、都市社会のあらゆる分野で活動しきり抜いたための「個性」の発揮と「新機軸」導入の方法と精神を学んで、実社会へ参入していくのです。本学で学んだ新しい学問と信念に誇りと自信をもって下さい。世界はいま世界同時不況という悪天候の真っ只中であります。こうした悪天候の中で生き抜く力を皆様はこれまで本学で磨いてきた筈です。その実力をいまこそ存分に発揮するときです。景気は循環するものですが、グローバル化した世界では変化の激しい不確実性が常につきまとい、それを克服するための適応能力の涵養と絶えざる探究心の向上こそが肝要であるといえます。どうか、皆様は本学で鍛えた「個性」と「挑戦」の信念を武器として絶えず何か新しいものを思いつく習慣を積み重ねながら、自らの人生を切り開いていく自立的姿勢を堅持して下さい。

留学生の皆様も広く開かれたグローバルな世界で、目前の不況をむしろ人生の好機に転換させる能力を發揮し、向上に向かって重ねていかれるよう、心より願念して止みません。

# すみれ祭

まちに新しい色を塗る他とは違うすみれ色  
2009.11/7(土)・8(日)

**大学祭・公開講座**

**テーマ: 食と地産地消**

農業問題に注目が集まる中、食をテーマに公開講座が開催されました。大学教授や県職員による講演や卒業生の体験等による地産地消についての活発な討論が行われました。

**春学期授業終了**

**5月 入学式**

**6月 春学期授業開始**

**7月 春学期授業終了**

**8月 教員免許状更新講習の実施**

**9月 新学期授業開始**

**10月 初立記念日**

**11月 すみれ祭**

**12月 宇都宮市民大学連携講座**

**1月 卒業式**

**2月 秋学期授業終了**

**3月 2009流行語**

## 贈る言葉

**卒業生へ贈る言葉**

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。卒業生の皆様が大学から旅立たれることを心からお祝い申し上げます。私が2年生のころ途方にくれた時にお世話になりました。サークルや大学祭など先輩と共に大学で過ごした年月がとても楽しかったです。今思えば最高の思い出として残すことができました。私にとって先輩方は時には頼もしく面白い存在でした。

大学内での何気ない会話がとても印象深く残っています。そんな会話は先輩方が居なくなると同時に無くなると思うと少々空しさを感じます。しかし、先輩方がから学んだ経験を忘れずに勉学や就職活動だけでなく様々な挑戦をして成長したいと思います。

ご卒業される先輩方はこれから大学とは違う混沌とした世界に社会人として歩むことになります。様々な試練が待ち受けていますが、どんな事があっても挫けず自信を持って立ち向かって進むことを強く願っております。私たちも先輩方に負けずに残りの大学生活を頑張って参りたいと思います。

### 卒業生へ贈る言葉

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。先輩達と今まで過ごした日々は、私にとってかけがえのないものでした。今まで起こった数々の出来事が、昨日の事のように思い出されます。私が困っているとき先輩達は、優しく手を差し伸べてくれました。先輩達がいなかつたら、今まで大学生活を送ってこれなかったと思います。

サークル活動や大学祭など、多くの活動をするにあたって私は、偉大な先輩達の背中を追いかけてきました。実際、先輩達には遠く及ぶませんでしたが、先輩達が私の目標となってくれたので、この公共大学にお越しになったとき、今よりもっといい大学になったと言つていただけるよう、私たちがんばって行きたいと思います。

これから社会に出て、理不尽な事や多くの問題にぶつかる事になると思いますが、諦めない強い心を持って、その壁を乗り越えていってください。

最後になりますが、長い間本当にお世話になりました。言葉に表せないほどの感謝の気持ちでいっぱいです。健康を崩さずにこれからも頑張ってください。今までありがとうございました。

## 平成21年度の出来事

4月 春学期授業終了

5月 北朝鮮が核実験、ミサイル発射も

6月 メキシコで豚インフルエンザの感染が拡大

7月 裁判員制度がスタート

8月 歌手のマイケル・ジャクソンさんが急死

9月 足利事件で菅家利和さん釈放

10月 オープンキャンパス

11月 シティライフ学部シンポジウム

12月 3年生インターンシップ

1月 留学生県内企業見学会

2月 オープンキャンパス

3月 春学期授業終了

4月 若田光一さんが宇宙から4か月半ぶりに帰還

5月 国連気候変動サミットが開幕

6月 日本郵政西川社長が辞任

7月 民主党鳩山代表が第93代内閣総理大臣に決まる

8月 新省庁消費税率が発定

9月 中国が建国60周年

10月 オーバーブルバース宮まつり

11月 那須塩原市民開放講座

12月 創立記念日

1月 宇宙飛行士野口聰一さんが宇宙長期滞在へ

2月 日米航空協議

3月 デンマーク「コペンハーゲンでCOP15が開幕

4月 アメリカ・オバマ大統領が初来日

5月 行政刷新会議の事業仕分けがスタート

6月 大学生によるまちづくり提案発表会

7月 クリスマスロビーイベント

8月 宇都宮市民大学連携講座

9月 秋学期授業終了

10月 冬季休暇

11月 大相撲初場所で横綱朝青龍が25度目の優勝

12月 日本航空「A」が企業再生支援機構の支援を正式に受ける

1月 ハイテクM70の地震が発生、政府が非常事態を宣言

2月 秋学期授業終了

### 【2009ヒット商品番付】

【東】	【西】
横綱 エコカー	横綱 激安ジーンズ
大関 キリンビール フリー	大関 LED
関脇 規格外野菜	関脇 餃子の王将
小結 下取り	小結 Twitter

## 言葉の花束

大学での経験を社会で活かしたい

大森 文博(塙谷農業協同組合)

入学したところを思い浮かべると、私は学校と家、そしてアルバイト先を行きかうだけの学生生活を送っていました。特に目標や志を持つこともなく、余った時間はゲームとネットサーフィンに勤しむ学生でした。しかし、1年次の終わりごろ、これではいけないと思いました。資格試験の勉強やサークル活動、学校のイベントで努力している友学の姿、それに対し、私はなんの資格もない、積極的に勉強やサークル活動をしているわけでもありません。そんな自分が社会に出てを迎えてくれる所などないだろうという不安が私を襲いました。

その不安に打ち勝とうと、多くの経験を積み、社会に出て恥ずかしくないような人間になりたいと奮闘しました。また、夢を持って挑戦したいと思った教職課程を受講し、見識を増やすために積極的にサークルや学校のイベント、ボランティアにも参加するようになりました。

3年次にはサークル協議会の会長や大学祭実行委員会の企画部にも選んでいただき、4年次では高校の教壇に立ち、短い間ながら多くの生徒を指導するという責任のある立場に立たせていただきました。そして、この春に無事卒業し、新しい生活を迎えることができるという事を、数年前の私には想像することすら難しかったでしょう。

こういった経験、そして結果が出せたのはひとえに、先生方のお力添えと友学達のおかげだと思います。大学で得た経験を生かし、世の中に少しでも貢献できる人間になりたいと思います。本当に世話をになりました。

## 興味を持って楽しむことが次の一步へつながる

誰しも、都市(まち)に出かけるときにはワクワクします。私はそんな「都市」というものに魅力を感じ、高校生の頃から「都市の事を幅広く勉強できる大学に進学したい」と思っていました。どのような学部に進学したらよいのか悩んでいたときに出会ったのが、「都市生活を学際的に学ぶ」と書かれたUKUのシティライフ学部の大学案内でした。

入学以降、勉学はもちろんのこと、課外活動やまちづくりの現場への参加など、たくさんの有意義な経験を積むことができました。

勉学面では、担任制によるアットホームな雰囲気の中で学び、多くの先生方から、勉学に対する姿勢や社会科学の考え方を教えていただきました。UKUならではの科目や「まちなかセミ(フィールドワーク)」の活動を通じてまちづくりに関する興味・関心を高めつつ勉学に取り組めたことが、2・3・4年生と須賀スカラーシップ奨学金(授業料全額免除)受賞につながったのだと思います。私が大学院進学を希望し、無事合格できたのもこうしたUKUの恵まれた環境があったからこそだと思います。また、2009年10月にはニューヨークで行われた国際会議で「まちの駅」について発表する機会もありました。英語でのポスターセッションや意見交換を行い、大変好評でした。

4年間でたくさんの課外活動にも参加しました。仲間とともに立ち上げた都市・アメニティ研究会では、まちの課題に対して解決策を模索して市政提案も行い、音楽のサークルでは仲間のアドバイスをもらいながらピアノの弾き語りを練習して、大学祭で楽しくコンサートを行いました。また、3年生の時に大学祭実行委員長を務め、グループで1つの目標に向かって作業を進めることの難しさと達成感を経験しました。これらの課外活動の思い出とそこで出会った仲間たちは人生の宝物です。

これから就職や進学に向けて活動することになる後輩の皆さんには、自分の興味のある専門分野を見付け、探し、楽しみながら自分を磨いてください。きっと繋ぐ次の一步へつながると思います。そしてUKUにはそれに応えてくれるバックアップ体制があります。

私はシティライフ学部を卒業後、筑波大学大学院システム情報工学研究科へ進学し、引き続き都市やまちづくりについて学びます。大学で得た知識や体験は必ず役に立つものになると確信しています。

今は、本当に有意義な4年間を過ごせたことと、次にステップできたことを嬉しく思い、共和大への感謝の気持で一杯です。

## 2009流行語

- 政権交代 内閣総理大臣 鳩山由紀夫
- こども店長 俳優 加藤清史郎
- 事業仕分け 行政刷新会議と事業仕分け作業チーム
- 新型インフルエンザ 厚生労働省医系技官 木村盛世
- 草食男子 タレント 小池徹平 コラムニスト 深澤真紀
- 派遣切り 派遣ユニオン書記長 関根秀一郎
- ファストファッション タレント 益若つばさ
- ぼやき 元天監督 野村克也
- 歴女(レキジョ) 女優 杏